

2014 年 7 月 5 日

協同組合はすべての人々のための持続可能な発展を実現します

7 月 5 日に祝う今年の国際協同組合デーのテーマは「協同組合はすべての人々のための持続可能な発展を実現します」です。地域社会への関与は、協同組合運動創始以来の価値のひとつであり、地域社会の好ましい生活環境を持続的に守る必要性は、あらゆる協同組合の事業運営とビジョンを支えます。

一般に、持続可能性とは支え、維持し、あるいは持続する能力を意味します。1980 年代以降、持続可能性の概念は、環境、経済、社会的側面を融合しながら変化してきました。協同組合はここで再び、現代における持続可能性の先駆者となりました。協同組合は人類のニーズを中心に据えることで、今日の持続可能性の危機に対応し、卓越した「共通価値」を提供します。

協同組合の 10 年に向けたブループリントの目標の 1 つは、「協同組合を持続可能性の構築者として位置付ける」ことです。持続可能性が協同組合に内在する本質の一部であり、協同組合が持続可能性に対して前向きな貢献を果たしているということ、協同組合セクターは世界に説明し、示していかなければなりません。

その一環として、ICA は、世界中の様々な地域やセクターの協同組合の持続可能性に関する調査を行いました。2013 年 11 月ケープタウンでの ICA 総会で発表された報告書では、協同組合はその運営形態や価値に持続可能性を組み込んでおり、国連はこのことを認識できるし、認識すべきであると締めくくっています。現に、2001 年に国連が採択した決議のなかで国連は各国政府に、「貧しい生活をしている人々または弱者集団に属する人々が、自発的に協同組合の設立と開発に関与できるような措置を講ずることを含め、協同組合の設立と発展」を奨励し、促進するように呼びかけています。

国連は現在、2015 年以降の意欲的な新しい目標設定を目指しており、これは「持続可能な開発目標」と呼ばれる予定です。協同組合運動は世界の 10 億の人々と関わり、すべての人々のための持続可能な発展というビジョンにより、この開発目標の主要なパートナーとなりえるのです。

私たちは、世界中の協同組合に対し、21 世紀に持続可能性を発展させ、構築する上で、協同組合はいかに最適な事業モデルであるかを示すために、7 月 5 日を活用するよう求めます。